



播磨町立中学校、小学校、幼稚園の本年度の教育方針をお知らせします。

▶ 問合せ 学校教育グループ
☎ 079 (435) 0545

蓮池幼稚園

園長 大辻 京子



人とつながる 気持ちがつながる —自分からつながろうとする コミュニケーション力をはぐくむ—

教育目標

「生きる力」の基礎をはぐくむ
—幼稚園・家庭・地域の連続した生活の中で—

- ・互いの気持ちのわかり合えるような表現ができるように、個々の発達や3年間の育ちを見通してきめ細やかに支えていく
- ・幼稚園教育から小学校教育への円滑なつながりを工夫する
- ・保育園、子育て支援センターや地域の自然環境などを積極的に保育に取り入れ、つながりを深めていく
- ・教師としての専門性を磨き、保護者や地域とつながりながら指導の充実に努める

本年度の取り組み

本年度は、“伝える”を大切にしたり取り組みに加えて、“つながる”を合言葉に自分を取りまく様々な事とつながろうとする力、そのためのコミュニケーション力を育てていきたいと思います。

また、県下でも珍しい公立幼稚園の3年保育という環境を生かして、異年齢の仲間との経験も大切にしながら、園と保護者、地域の方、地域の環境、などあらゆる場面でのつながりを意識して取り組んでいきます。

努力目標

- ・様々な人とかかわる機会を多くもち、つながってうれしいと思える経験を積み重ねていく環境を工夫する



播磨西幼稚園

園長 佐伯 啓子



いきいきと表現する子どもに —健やかでたくましく、 けじめある子どもをめざして—

教育目標

「生きる力」の基礎をはぐくむ
—幼稚園・家庭・地域の連続した生活の中で—

- ・きまりの必要性に気付くよう機会を捉え、その都度言葉を掛けていく
- ・シニアクラブや絵本ボランティア、小学生、中学生など地域の様々な人と触れ合う中で温かい気持ちや言葉に触れる機会をつくる
- ・教師としての専門性を磨き、一人ひとりの発達や学びを踏まえ保育内容の充実に努める

本年度の取り組み

本園では、いろいろなことに意欲的に取り組み、健康で安全な生活ができる「からだ」と、自信をもって行動できる「こころ」を育てていくために、幼児がいろいろな動きを経験したり、地域の様々な人とかかわれたりする場をつくって、心も体も健康な幼児の育成に取り組んでいきます。

努力目標

- ・教師や友達との温かい触れ合いの中で、様々な場面に対応できるしなやかな心の動きや体の動きを体得できるようにする
- ・様々なことに興味をもって、思い切り体を動かす気持ちよさを繰り返し味わえるような環境を整えていく



播磨幼稚園

園長 富山 智子



遊ぶ・つながる・育ち合う —遊びが豊かな学びにつながるように 教師の援助や環境構成の在り方を考える—

教育目標

「生きる力」の基礎をはぐくむ
—幼稚園・家庭・地域の連続した生活の中で—

努力目標

- ・様々な体験の場を大切な学びの場として捉え、その体験がどんな学びにつながっているのか見極めて、一人ひとりの幼児に丁寧に関わっていく
- ・幼児一人ひとりの発達や学びを踏まえ、遊びの充実に努める
- ・個々の発達や3年間の発達を見通したきめ細やかな指導をする
- ・友達や異年齢児、地域の人など、様々な人との関わりを大切にしている
- ・教師としての感性や専門性を磨き、保護者や地域と連携しながら保育の充実に努める

本年度の取り組み

幼児は、遊びを中心とした生活の中で、様々な経験を通して望ましい心情・意欲・態度を身に付けていきます。

今年度、播磨幼稚園は遊戯室塔の新築工事や園舎の改修工事など大きな環境の変化があります。その変化を柔軟に受け止めながら遊びを通して自己を発揮し、互いの存在を認め合う姿を受け入れ、幼児の経験することが学びへとつながるような環境づくりや援助に努めたいと思っています。





夢かがやき とともに学びをきりひろく 心豊かなに西っ子の育成

本校では、教育目標のもと数年にわたり道徳教育を中心に教育活動を進めてきており、昨年度からは道徳の教科化に向けての取り組みを進めています。そして今年度は、指導内容をさらに精査し、

2018年度からの実施に向け万全を期したいと考えています。

また、言語活動の取り組みについても音読を中心に継続的に進めてきています。今年度は、これまでの課題を明確にしなが、ステップアップをめざすと共に、読解力向上においてもこれまで以上に教育活動を展開していきたいと考えています。

本年度の重点目標

- 基礎的・基本的事項の確実な定着と児童自らが主体的に学ぶ学習指導の工夫と改善
- 生命尊厳の精神と人権尊重の精神を基盤とした豊かな心の育成
- 「生きる力」を育む体験活動の展開（為すことによって学ぶ）

○家庭、地域社会の連携を強化し、地域社会に開かれた学校づくりの推進

本年度の努力目標

- 1 あいさつをしっかりとしましょう
- 2 人のいやがることをせず仲良くしましょう
- 3 人の話をしっかりと聞きましょう
- 4 感謝の気持ちを持ちましょう



今年度最初に子どもたちに頑張りたいこととして話した目標です。特に「感謝の気持ちを持ちましょう」を重点的に取り上げ「ありがとう」を合い言葉に「良い関係づくり」を進めていきたいと考えています。



「夢」と「希望」を持ち、 社会的自立を目指して学び合う南っ子の育成

人は一人では生きることができません。多くの人々の存在で生かされているといつてよいでしょう。多くの人々の存在が家族から地域社会へと広がっていくのが小学校6年間です。この6年間で多くの

人々と関わり、小学生なりに人生とはなんぞや？多くの人々のために何かできないかと考えるのが本校の目指す社会的自立です。

目指す子ども像

- 人格の尊重 → 生命を大切にし、自他の人格や個性を尊重し合う子ども
- 正しい判断力 → 勇気を持ち、適切に判断し、チャレンジすることを恐れない子ども
- 強い心と身体 → ねばりよく、くじけない心と健康で強い身体をもつ子ども
- 感受性と表現力 → 豊かに感じる心をもち、言葉の力を高めて表現できる子ども
- 信頼と共働 → 互いを信頼し、共に助け合い磨き合う子ども
- 自立と創造 → 社会的自立を目指し、自己の能力やキャリアを高める子ども
- 社会への貢献 → 地域を愛し、社会に積極的に奉仕する子ども

本年度の新入生から3クラスになり、児童数が増えています。町内で1番小さな学校だった南小が発展期になってきました。

校舎も増築され、子どもたちは充実した学校生活が新学期より送れています。



教育目標

知・徳・体の調和のとれた児童の育成

本校では昨年度同様、上記の教育目標を掲げ、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体力」の基礎基本を培いながら、『生きる力』の基盤づくりに尽力していきます。

本校の取り組み

- (1) 全員の学力を伸ばす学習環境
ユニバーサルデザインの視点で教室環境と授業研究を推進し、共に伝え合い学び合う場を充実します。
- (2) 協働による温かい人間関係づくり
コミュニケーションスキルの育成を図り、道徳教育・人権教育・特別支援教育を充実します。
- (3) 健康維持と体力向上
食育と学校保健による健康・安全意識の高揚と、だれもが楽しめるトレーニングを採り入れた体育授業を推進します。

- (4) 教職員の資質向上と業務改善
校内研修と若年者研修を充実させると共に、学校行事や会議の効率化と勤務時間の適正化を図ります。
- (5) 家庭・地域から信頼される学校
保護者との密なる連携（情報交換・教育相談・ボランティア）を図り、PTA行事と町行事へ全教職員が参加します。



保護者並びに地域の皆さま方におかれましては、今後とも本校の教育推進へのご理解ご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



校訓 豊かな心 健やかな体

教育目標

「未来を拓く子どもたちの豊かな人間力の育成」

目指す子ども像

- (1) 自ら考え、表現する子
・自らはたらきかけ、自らのめあてをもって、学習に取り組む子
・学習したことを自分なりの視点や方法で表現する子
- (2) 心豊かな子
・自立の心や思いやりの心、生命を尊重する心を身につけ、よりよい生き方を求める子
・他を認め、仲間と力を合わせて生きていこうとする子
- (3) たくましい子
・仲間とともに遊んだり、運動したりすることの楽しさや喜びを味わう子
・心身の健康の大切さに気づき、健康の保持増進に努める子

本年度の努力目標

- (1) 基礎・基本の定着を図り、自ら考え表現する力を育成する
- (2) 言語に対する関心や理解を深め、言語能力を育成する
- (3) 「説明する理数教育」のさらなる推進を図り、学校力を向上させる
- (4) 児童理解に努め、豊かな心を育む教育を充実する
- (5) 自らを鍛える、健康で明るくたくましい子を育成する
- (6) 開かれた学校づくりを推進し、地域に信頼される学校づくりを目指す
- (7) 特別支援教育の充実を図る
- (8) 勤務時間の適正化による、ゆとりある教育環境を整備する



就学援助及び奨学金制度のお知らせ

- ▶ 申込み・問合せ 教育総務グループ ☎079(435)0533
- ▶ 申込期間 6月1日(水)～15日(水) 9:00～12:00、13:00～17:00(土・日曜日は除く)



1 小・中学校の就学援助制度

町立小・中学校の学用品費および給食費などに対して援助します。
 ▶ 対象 生活保護世帯または世帯全員の所得が基準額以下の世帯。昨年度に認定された世帯も再度申請願います。
 ※就学援助は期間後も随時受け付けしますが、受付期間以降の申請については、4月1日にさかのぼって認定できませんのでご注意ください。

▶ 貸付額

区 分		奨学金の額
国公立の高等学校		月額17,000円
私立の高等学校		月額29,000円
高等専門学校	国公立	月額20,000円
	私立	月額31,000円
専修学校	国公立	月額17,000円
	私立	月額29,000円
各種学校		月額22,000円
大学・短期大学など		月額30,000円 または50,000円 (自由選択)

2 播磨町奨学金貸付制度

経済的理由により就学が困難な学生などに対して奨学金を貸付しています。
 ▶ 対象 高等学校、高等専門学校、特別支援学校の高等部、専修学校、各種学校、大学および短期大学など(ただし私立学校については学校法人が設置運営する学校であること)に在学中で、所得が奨学生資格審査委員会の定める基準額以下の方に貸し付けします

県立東はりま特別支援学校「オープンスクール」

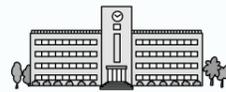
本校での取り組みについて多くの方々に知っていただくために開催します。本校の教育に興味・関心のある方の参加を多数お待ちしております。
 ▶ 日時 6月6日(月)～10日(金) 10:00～12:00(受付時間10:00～11:30)
 ▶ 内容 自由な授業参観
 ▶ 問合せ 県立東はりま特別支援学校(担当 教頭) ☎079(430)2820

ゆとりある学校生活のためご協力をお願いします

▶ 問合せ 学校教育グループ ☎079(435)0545

児童・生徒のゆとりある生活の確保、心身のリフレッシュやスポーツ障害などの防止、教職員が児童・生徒と向き合う時間の確保のため、県教育委員会では新対策プランを策定し、「ノー部活デー」や「教職員定時退勤日」を実施しています。保護者や地域の皆様のご理解、ご協力をお願いします。

- ノー部活デー 平日週1日、休日月2回以上
 - 教職員定時退勤日 週1回以上
- ※実施日は各学校で設定します。



家庭教育コラム⑤

子どもたちの未来のために

「家庭学習は、とても重要」
【小学3・4年生③】

「学ば力」「学ぶ姿勢」を身につけるために

● 保護者の皆様へ(その3)
 ○ 自分でできるようになってきましたが、まだまだ保護者の手助けが必要です。たとえば…

- ◆ 身の回りの整理整頓ができていますか?
- ◆ 宿題はやり終えていますか?
- ◆ 学校からの配布物は全部出したかな?
- ◆ 学校へ持っていくものは準備できていますか?
- ◆ など、急に手を離すのではなく、徐々に自分だけでできるように習慣づけていきましょう。

○ 地域社会の文化や産業、自然に触れる体験も大切です。

播磨中学校

校長 木下 康雄



校訓 明朗・自治・創造

学校教育目標を実現するために、「チーム播中」として全教職員の組織力と家庭・地域と連携し、地域に開かれた信頼される学校のなかで、将来、子どもたちが、自立し、社会で生き抜く「生きる力」を育てていきます。

学校教育目標

「人間尊重の精神を基盤に、知・徳・体の調和のとれた全人教育を目指し、自ら学ぶ意欲と主体的に生きる力を育成する」

本年度の努力目標

『基本的な学習・生活習慣の定着と育成』
 ※教師も生徒も日常の学校生活を大切に、全職員が、「すべての生徒の担任である」という意識を持ち指導にあたる。学校に自分の居場所があり、自分の能力を十分発揮できる環境をつくる。

- 1 一人ひとりを大切にする授業づくり
- 2 自分たちで支える学級づくり

- 3 「あいさつ」からはじめる温かい人間関係づくり
- 4 命の大切さを実感させる教育を実践する

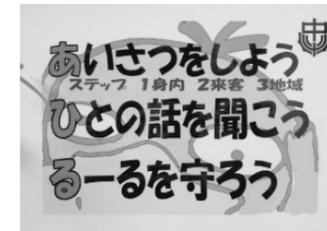
本年度の重点項目

- (1) 学習指導の充実
- (2) 特別活動と道徳教育の充実
 ※本年度から2年間、道徳の研究実践に取り組む
- (3) 不登校対策
- (4) 特別支援教育の充実
- (5) 安全・安心の学校づくり
- (6) 人間的なふれあいに基づく生徒指導
- (7) 学校教育啓発活動の充実



播磨南中学校

校長 森 敏雄



教育目標

「社会的自立を目指し、未来に向かって主体的に生きる力の育成」

重点課題

- 1 知識基盤社会に対応する「確かな学力」を身につけさせる
- 2 豊かな心と社会性をはぐくみ、社会的自立を促す
- 3 生徒理解に基づいた心を結ぶ生徒指導により生徒の自己指導能力を高める
- 4 個性や特性に応じた特別支援教育を充実させる
- 5 個々の状況に応じた不登校対策を推進させる
- 6 勤務時間の適正化に努め、学校運営組織のスリム化・活性化を図る

- 7 生徒が学校生活を安全、安心に、そして心豊かに過ごせるように基礎的環境を整備する
- 8 教職員一人ひとりが個々の専門性、資質向上を図る
- 9 魅力的な開かれた学校として地域や家庭との連携を保ち、生徒や保護者との信頼関係を一層深める

元気でいること。そして段取り力を鍛えること。そして「あひる」(挨拶すること。人の話を聞く(聴く)こと。ルールを守ること)も継承して指導していきます。家庭、地域、学校それぞれが得意なことを存分にやりましょう。ご支援、ご協力くださいますよう、お願いいたします。

